

平成 26 年 6 月 13 日

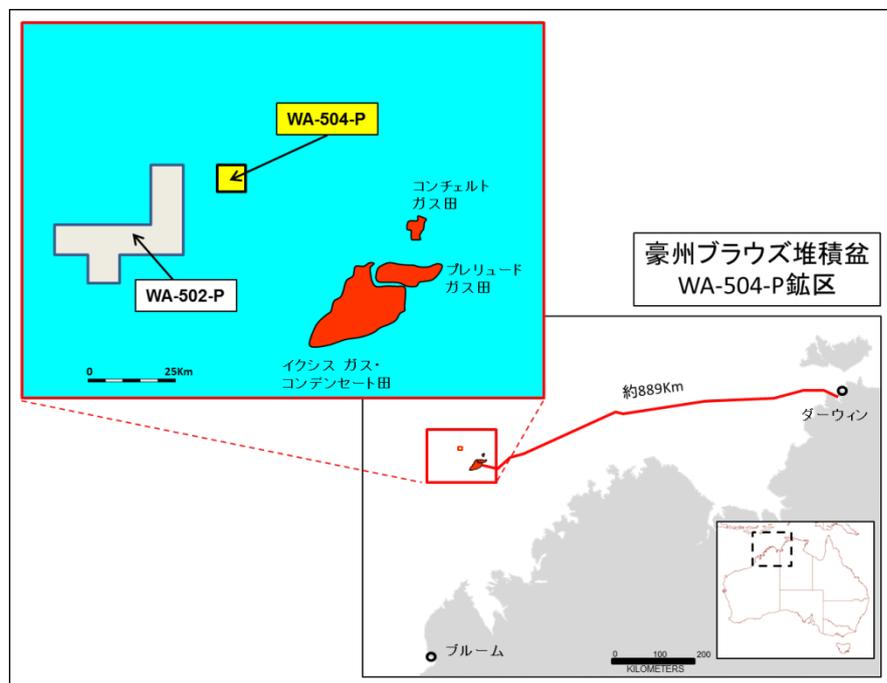
各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号	03-5572-0233

オーストラリア 西豪州沖合 WA-504-P 鉱区権益 (探鉱鉱区) の落札について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社の INPEX Browse E&P Pty Ltd (以下、同社) を通じて、2013年に公開されたオーストラリア探鉱鉱区の入札において、先般落札しました WA-502-P 鉱区 (探鉱鉱区) (※) に続き、オーストラリア西豪州沖合に位置する WA-504-P 鉱区 (探鉱鉱区。以下、本鉱区) をオーストラリアのサントス社とともに落札しましたので、お知らせいたします。本鉱区の権益比率は、同社が40%、オペレーターのサントス社が60%を保有します。

(※) WA-502-P 鉱区 (探鉱鉱区) の落札については、2014年5月16日に公表した当社プレスリリースご参照



WA-504-P 鉱区ロケーション

本鉱区は、西豪州ブルーム市の北北東約500キロの沖合に位置し、鉱区面積は約83km²、水深は400mです。本鉱区の周辺では、当社グループ会社がオペレーターとして開発作業を推進しているイクシスガス・コンデンセート田 (イクシスLNGプロジェクト) や当社子会社がシェル社とともに

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

にフローティングLNG方式により開発作業を行うプレリユードガス田やコンチェルトガス田（プレリユードFLNGプロジェクト）が位置するなど複数のガス田等が発見・開発されており、WA-502-P鉱区と同様本鉱区は有望なエリアと期待されます。

今回の本鉱区の落札によりイクシス ガス・コンデンセート田の周辺に位置する同社及び当社子会社保有探鉱鉱区は11鉱区となり、当社の中核的事業地域であるオセアニア地域での取り組み強化に資するものです。また、イクシス ガス・コンデンセート田の周辺鉱区での積極的な探鉱活動は、イクシスLNGプロジェクトの将来価値の拡大を図るとの当社方針に沿うものです。

当社は今後とも、オーストラリアをはじめ、アジア・オセアニア地域での事業展開に積極的に取り組んで参ります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

以上